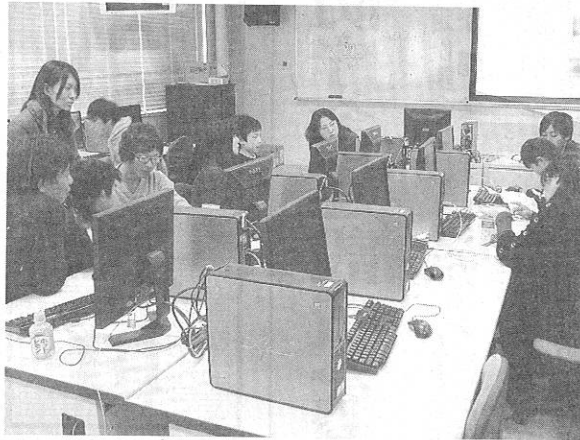


センサーで走るミニカー

有明高専 体験教室 児童が学生と一緒に作る



有明高専電子情報工学科は、エレクトロニクスものづくり体験教室を開催。小学四年生から六年生までの児童が参加し、学生と一緒に、センサーを搭載し障害物を避けて走行するミニカーをつくった。

エレクトロニクスものづくり教室は六回目。例年はラインを読み込んで走行するミニカーを作っているが、今回はセンサーを搭載し、コンピュータを使ってプログラムを入力し障害物を避けながら走行できるミニカーをつくった。

体験教室のリーダーを務めた五年生の守田遥さん(二〇)は「子どもたちは、プログラムについて自発的に考え、理解してくれて、作業がどんどん進みました。プログラミングの面白さを知ってもらい、受講した子どもたちが私たちの後輩となってくれたらうれしいですね」と話した。